

ニュージャージー日本人学校

FCIでキャスター体験も

ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)の5年生6人は1月24日に社会科見学を実施し、マンハッタンにあるフジサンケイ・コミュニケーションズ・イン



ンターナショナル(FCI)を訪れた。

まず、英語でのクイズ形式でメディアの今について楽しみながら学んだ。また、スタジオでは、天気予報キャスターやカメラの操作、キャスターの背景画像の切りかえに挑戦した。児童たちは、めつたにできない体験に目を輝かせていた。キャスター体験では天気予報速報に挑戦。リハーサルで久下香織子キャスターから声のトーンや視線の向け方などのアドバイスをもらい、本番では緊張しながらもアドバイスを生かして視聴者の視線に立って、はっきりと天気予報を伝えることができた。

さらに、最新の屋外中継番組制作スタッフの説明を熱心に聞くニュージャージー日本人学校5年生の6人

装置を見せてもらい、その小型さに驚きメディア機器の進化を実感した。また、体験後のインタビューでは、ニュース番組を作るときや伝えるときに気をつけていることなどを質問し、テレビ局で働く人の生の声を聞いて情報化社会について理解を深めた。

働く上で意識していることや必要な知識についても話をしてもらい、児童たちはメディアの仕組みだけでなく職業についても学ぶ充実した時間を過ごした。